

# 固定施設を使った運動遊びの実践

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

今年度も岩崎は、体育専科教員を務めることになりました。今年度で11年目に入ります。初めて体育専科教員として子どもたちの前に立った時は、旧学習指導要領でした。今では授業も大きく変わり、一人一台タブレット端末を活用する授業が浸透してきたところです。

今月は、低学年で固定施設を使った運動遊び、中学年、高学年で体づくり運動の授業を行いました。ここでは、固定施設を使った運動遊びの実践を紹介します。

## <固定施設を使った運動遊び：低学年>



低学年：「固定施設を使った運動遊び」「鉄棒を使った運動遊び」の簡易単元構造図 (4/11~4/21)								
学習目標 (ゴールイメージ)	(知識及び技能)	① 決めた運動遊びの動きに合わせ、その行い方を覚るとともに、その動きを身に付けること。 ア 固定施設を使った運動遊びでは、降り下りや転がりを繰り返すこと。 イ 鉄棒を使った運動遊びでは、支那しての動きを覚るとともに、その動きを身に付けること。						
	(思考・判断・表現力等)	② 鉄棒・鉄柱を用いた簡単な遊び方を工夫することにも、考えたことを友達に伝えること。						
	(主体的に深い学びを促す意図)	③ 運動遊びに意図を持って取り組み、きまりを守り遊ぶことで種よく運動をしたり、仲間と協力・競争の姿を見せられること。						
学習の 流れ	1	2	3	4	5	6	授業づくりのポイント	
	10	15	20	25	30	35	40	授業のねらいは、運動遊びを通して、 ① 決めた動きを身に付けること。 ② 決めた動きを身に付けること。 ③ 決めた動きを身に付けること。 ④ 決めた動きを身に付けること。 ⑤ 決めた動きを身に付けること。
	45	50	55	60	65	70	75	授業のねらいは、 ① 決めた動きを身に付けること。 ② 決めた動きを身に付けること。 ③ 決めた動きを身に付けること。 ④ 決めた動きを身に付けること。 ⑤ 決めた動きを身に付けること。
	80	85	90	95	100	105	110	授業のねらいは、 ① 決めた動きを身に付けること。 ② 決めた動きを身に付けること。 ③ 決めた動きを身に付けること。 ④ 決めた動きを身に付けること。 ⑤ 決めた動きを身に付けること。
評価	①	②	③	④	⑤	⑥	授業の評価	
評価	①	②	③	④	⑤	⑥	授業の評価	

単元構造図 (右図)



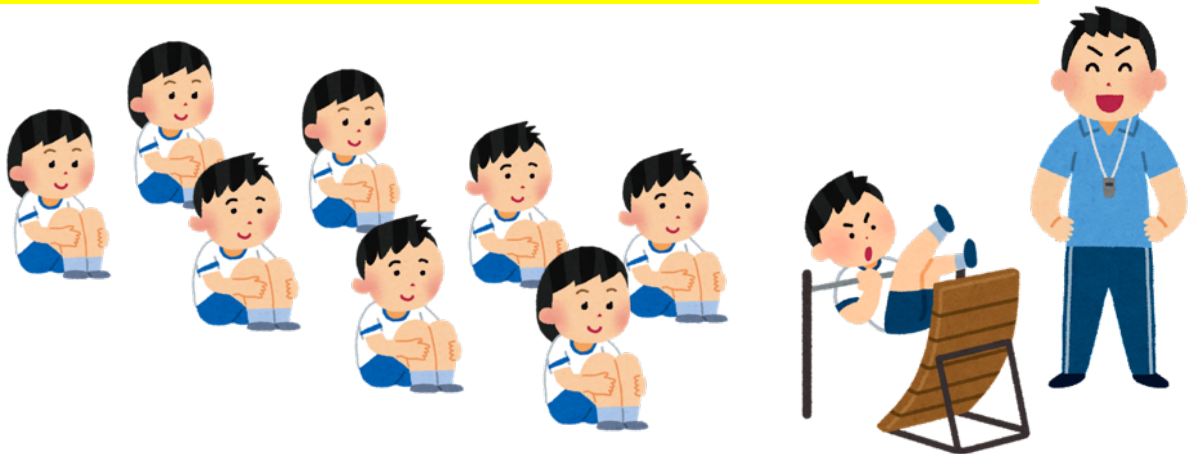
各固定施設の使い方を教えた後は

**ペアで運動&撮影・・・待機時間なし・記録が残る**



今もよく見られる

**一斉指導・・・待機時間長い・理解しやすい**



従来よく見られた待機しながら学習するやり方も利点がありますが、ペアで撮影し合う学習もこれからありなのかなと思いました。



# 自分たちで残した成果物（写真・動画）



ロイロノートを使い写真・動画で整理

## 説明動画の通りやってくれる子どもたち

<コウモリおり>



<ペアさか上がり>



補助者が大切なことも実感してもらいました。